

**大館市の観光地としての特徴をどのよう**  
**に捉えていますか？**

—大館は、JR東日本管内の鉄道では首都圏から一番時間がかかるエリアです。ですから、どこにでもあるような素材を提供するだけでは、観光客は大館を目指してはくれません。

秋田犬や曲げわっぱなど、観光客にPRするための一級品の素材はたくさんありますが、観光に向けた取り組みはエネルギー不足かもしれません。

大館には他のエリアと違って、まだまだ観光地として伸び代があります。秋田DCをきっかけに、現代の観光客のニーズに合ったストーリー性のある演出を工夫し、お客様に感激や感動を与える大館の観光づくりを進めていきたいと思います。



臨時列車到着の際には歓迎の横断幕でお出迎え

**大館駅では、駅に降り立ったお客様に様々な演出でおもてなしをしていますね。**

—お客様に季節ごとの大館の良さを感じてもらえるように、街と大館駅が一体となって取り組んでいます。

ブレ秋田DCの期間中の土日やお客様の多い日には、市と観光協会、秋田犬保存会の協力で「秋田犬ふれあいコーナー」を設けました。秋田犬との触れ合いで、大館ならではの「あたたかさ」や癒しを感じてもらえたいと思います。

更に、大きなイベントのある日には秋田犬との記念撮影を行い、台紙付きの写真にしてプレゼントしました。単に大館に行ってきたという事実としてではなく、心地良い思い出として大館が記憶に残るように努力しています。

また駅に降り立ってすぐの大館の第一印象に気を遣って、バラまつりの期間には構内にバラの生花で装飾をしたり跨線橋にバラのアーチを飾ったりしています。大文字まつりや神明社祭典



バラまつりに合わせて駅全体にバラの装飾



大館駅社員手作りの「きりたんぼ大鍋」。駅利用者の目を引いています。

の時期には、ぶっかけみこしを展示したり駅舎の軒下に提灯を飾ったりして、祭りを盛り上げています。

秋には改札のすぐそばにきりたんぼの大鍋を、冬にはジャンボ枝アメにイルミネーションを施し、駅前ハチ公像の周りにミニかまくらを作り「なごみ」の雰囲気を出しています。

秋田DCの開催期間は秋の3カ月間ですが、期間外に大館を訪れるお客様にも、大館駅で大館の四季を感じていただきたいと思っています。

大館駅は市の玄関口として、地域と一体感のある取り組みで、来訪者と市民の両方から好印象を持っていただけるように努めています。

**10月からの秋田DCに向けて、期待することをお聞かせください。**

—市や観光協会、商工会議所などの観光関係団体だけでなく、全てのかたが

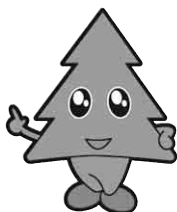
大館の観光づくり・地域づくりに連携して継続的に推し進めるネットワークを構築していただきたいですね。

観光客でもビジネス客でも、大館にきたお客様を喜ばせたいという「おもてなしの心」を忘れずに「大館が好き」と言ってもらえる街を作っていきたいと思います。

秋田DCが終わった後も、盛り上りを絶やすことなく5年・10年先も大館が活気あふれる街であってほしいです。

## おもてなし「ラム②

「意識して素敵な『笑顔』を身に付けてみよう」



人は、初めて会った相手を10秒程度の第一印象で判断しています。そして第一印象を良くするために効果的なのは、相手に笑顔を見せることです。けれど、心の込もっていない笑顔は相手に伝わるものではありません。

出会う人、話す人に喜んでもらえるように考えながら、口角を上げてあげを引くと美しい笑顔になります。朝出掛ける前に鏡の前で笑顔の自分に向き合うなど、日頃から意識して、ぜひ素敵な笑顔を身に付けてください。